

# 施工説明書



## RoomCloser ルームクローザー RCM-SHT 戸袋仕様

### 建具仕様

- 木製片引戸・戸袋納まり
- 重量 40kg以下
- 戸高さ 1,800mm以上
- 戸厚 28mm以上
- 戸幅 750mm以上
- ストローク 1,200mm以下

### 部品構成

名称	数量
① 上レール(L=2,555) 【レールブラケット付き】	1
② 戸先ランナーユニット	1
③ 戸先ランナー	1
④ ゼンマイ装置	1
⑤ ゼンマイホルダー	1
⑥ ダンパーストッパー	1
⑦ ワイヤーフック	1
⑧ キャッチ	1
⑨ レールブラケット取付けねじ 【付属ねじ: 皿タッピン M3.5x25】	5
⑩ 取付けねじ 【+トラスタッピン M3.5x25】 ⑤、⑥、⑦、⑧、⑨の取付けを兼用	13
⑪ ホルダー	2
⑫ ホルダー取付けねじ 【+ナベタッピン M4x30 (GB色)】	6
⑬ 下ガイド LG-F2	1
⑭ 戸当り (H=10) 【付属ねじ: +トラスタッピン M3.5x25 2本】	2
<b>オプション</b>	
⑮ ガイドレール LG-R (L=1,350)	1

### 参考納まり図

L : レール長さ  
 W : 開口幅  
 H : 開口高さ  
 DW : 戸幅  
 DH : 戸高さ  
 S : ストローク

### 引戸加工図

**上部 加工寸法**  
 戸先側: 16, 42.5, 573, R10, 20, 77, 40  
 両サイド共通: 40, 42.5

**下部 加工寸法**  
 17.5 (※20.5), 22, 24.5

**ゼンマイ装置取付部詳細**  
 110, 100, 22, 56, 22, 27, 20, 4※, 52, 18.3, 77, 4※, 10, 53, 77

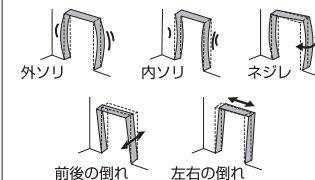
(※)はオプションのガイドレール LG-Rを使用する場合

※ゼンマイ装置着脱時のスライド幅

### ご使用上の注意

- 学校や商業施設などの不特定多数の方が利用される箇所や、過酷な条件下でのご使用はお控えください。
- 屋外や浴室、化学薬品を取り扱う場所でのご使用はお控えください。

**△注意** 取り付ける枠や壁に変形がないようにしてください。  
正常な作動を妨げる場合があります。



●レール内に潤滑剤のスプレーや塗布をしないでください。埃を吸着して作動不具合の原因になります。

●戸は強い力で閉閉(急開・急閉)しないでください。作動不具合や破損の原因になります。

### 困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
セルフクローズの途中で止まってしまう	床面(下ガイドのプレート)に戸下面が擦っていませんか。	戸の上下調整を行ってください。
	ブレーキが強く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
	レールが斜めに取付いていませんか。	レールを水平に取り付けてください。
全開時キャッチが機能しない	キャッチの取り付け位置がずれていませんか？	キャッチの位置調整を行ってください。
ブレーキが掛からない	ブレーキが弱く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
戸の開閉時に異音が発生する	戸が幕板や隣接する箇所に擦っていませんか。	隣接するものと擦らないよう、戸の前後調整を行ってください。
	上レール内にゴミや埃が残っていませんか。	レール内の清掃を行ってください。
	ランナーのタイヤにゴミや埃が付着していませんか。	一旦レールを外し、タイヤに付着したゴミや埃を取り除いてください。
	上レールを取り付けているねじの頭が出ていませんか。	ねじの締め直しを行ってください。

### 製品保証について

保証期間は建物の引渡日から2年間です。施工説明書やカタログの記載内容に基づき適正な使用状態で、保証期間内に当社製品に起因する不具合が発生した場合は、無償修理または交換をいたします。なお、保証期間内であっても以下に例示する免責事項にあてはまる場合は有償での修理、交換となります。

- 施工の不備に起因する不具合。
- 使用頻度が高いことによる部品の著しい損耗と、それに伴う作動不具合。
- 建具や枠、躯体の変形に起因する不具合。
- 異常な高温・低温または多湿の環境下での使用。
- 適用箇所以外、および適用サイズを超える建具を使用した場合。
- お客様自身による改造、分解、修理に起因する不具合。
- 天災などの不可抗力による不具合。

お問い合わせ先

株式会社SKB

〒577-0032 大阪府東大阪市御厨1-5-3

TEL: 06-6785-1013

FAX: 06-6788-7035 www.skb-net.co.jp

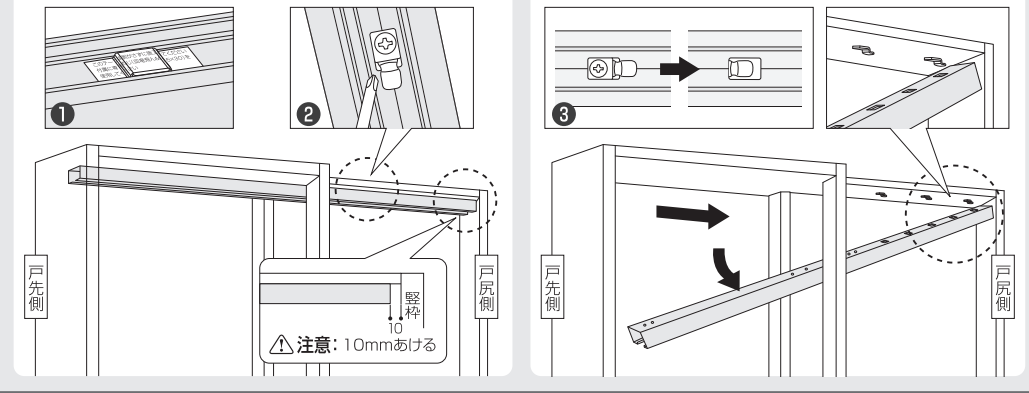
## 施工前に必ずお読みください

本製品は、戸袋施工後でも上レールを脱着して施工、メンテナンスを行う仕様です。

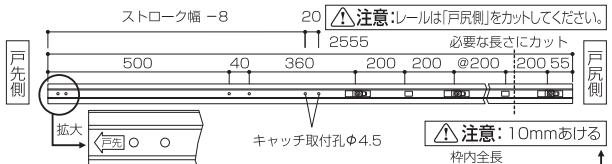
- 戸袋施工前に①上レールを一旦取付けます。
- 戸袋施工後、引戸の吊り込み時に①上レールを外して②戸先ランナーユニット(エアダンパー)と③戸尻ランナーを組み込み、再度①上レールを取付けて固定します。
- 上レール内部に組み込んだ部品を交換する場合も、同様に上レールを脱着して行います。
- 上レールの長さに対して十分な開口寸法がある場合は、上レール全体を戸袋から取り出して交換することができます。
- ⑦ワイヤーフックと⑧キャッチは開口部から脱着・交換できます。

### 上レールの取付けと脱着方法

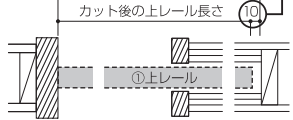
- ①出荷時は上レールにレールブラケットがシールで仮留めされています。②シールをはがさずにレールブラケットのネジ孔から天枠へ取付けます。(△注意:上レールは戸尻側のレール端から堅枠までが10mm空くよう、長さをカットして取付けてください。)
- ③上レールを外す時は戸尻方向へずらすとシールが切れ、角孔からレールブラケットが外れます。再取付けは逆手順で行います。



## 戸袋施工前 ① 上レールのカットと孔あけ ② 上レールと戸当りの取付け



- ①上レールを、戸尻側のレール端と堅枠の間隔が10mm空く長さでカットします。レール端から最も近いレールブラケットまでは最大400mmとします。
- 納まりにあわせて⑧キャッチの取付位置を決め、取付孔(φ4.5mm)を2箇所あけます。

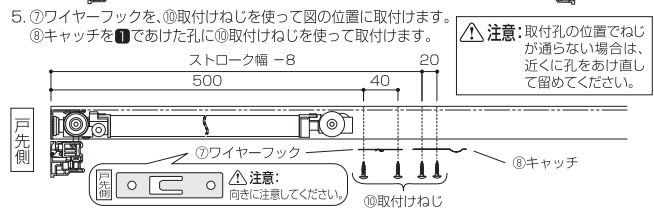
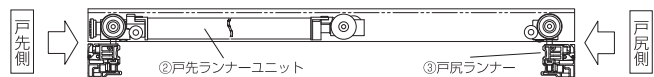


- ①上レールを⑨レールブラケット取付けねじを使って天枠に取付けます。ねじ留める箇所はレールブラケットがある箇所すべてです。ここでは丸孔へのねじ留めは不要です。  
**△注意:** 天枠へねじが通らない場合は、レールブラケットを隣の角孔へ移して留めてください。隣り合うレールブラケットの間隔は最大400mmとします。

- ①上レールを脱着できるか確認します。(冒頭の「上レールの脱着方法」を参照)  
**△注意:** 必ず脱着できることを確認してから戸袋施工前の作業を終えてください。①上レールがレールブラケットから外れない場合、ねじ留めを少し緩めます。
- ⑩戸当り(2個)を付属のねじを使って堅枠に取付けます。

## 戸袋施工後 ③ 部品の組み付け

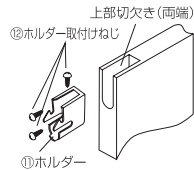
- ①上レールを外して内部の清掃を行います。(ランナー走行面の拭き取り、エアブローでの埃除去。)
- ①上レールに、②戸先ランナーユニットと③戸尻ランナーを挿入します。
- ③戸尻ランナーの向きはどちらでも使用できます。
- 再度、①上レールをレールブラケットに引っ掛けます。
- ④取付けねじを使い、①上レールの戸先側の端へ④ダンパーストッパーを取付けます。2箇所ある孔は両方で留めてください。



## 4 部品の取付け

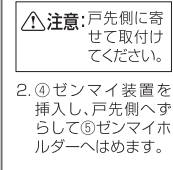
### ホルダーの取付け

- 引戸の上部両端の切欠きに①ホルダーを②ホルダー取付けねじ(各3本)を使って取付けます。

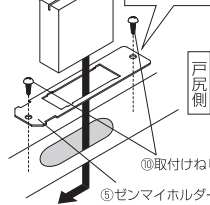


### ゼンマイ装置の取付け

- 引戸上部の切欠きに④ゼンマイ装置を挿入し、戸先側へずらして⑤ゼンマイホルダーへはめめます。

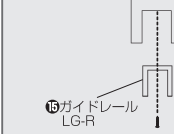


- △注意:** 向きに注意してください。



### [オプション] ガイドレールの取付け

- ⑩ガイドレールに必要な長さでカットし、戸の底溝に取付けます。



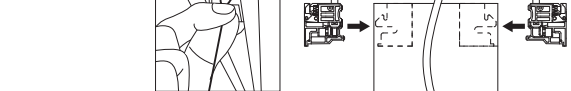
### 下ガイドの取付け

- ⑩下ガイドの取付け位置を決めます。
- 向きに注意して⑩取付けねじを使って床に固定します。



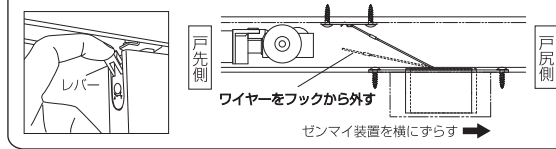
## 5 吊り込み

- 戸を開口部に寄せて、⑦ワイヤーフックを②戸先ランナーと②戸尻ランナーユニットを①ホルダーにカチッと音が鳴るまではめ込みます。



### 戸の取外し

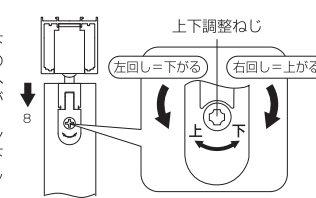
- 戸先・戸尻ランナーのレバーを起こして引き出します。
- ワイヤーをフックから外します。ゼンマイ装置はホルダー内で戸尻方向へ横にずらすと外せます。



## 7 各種調整

### 戸の上下調整

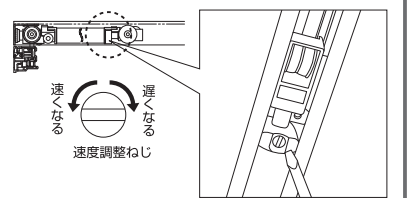
出荷時はレール下の隙間が4mmの設定で、下方へ8mm幅の調整が可能です。戸先・戸尻のランナーにある「上下調整ねじ」を回して調整します。



- △注意:** 電動ドライバーは使用しないでください

### ブレーキ力の調整

ブレーキ作動区間で戸が開まる速さを調整できます。②戸先ランナーユニットを戸から引き出して、ブレーキシリンダーに付いている「速度調整ねじ」を回して調整します。  
※左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる)  
右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)



- △注意:** 電動ドライバーは使用しないでください

### 戸の前後(奥行き)調整

前後それぞれ2mmの調整が可能です

- 戸先・戸尻のランナーを戸から引き出して、各ランナーの下面にある「前後調整ねじ」を緩めます。
- 戸の前後位置を調整します。
- 調整が終わったら「前後調整ねじ」を締め込みます。



### 下ガイドの調整

前後それぞれ6mmの調整が可能です

- 取付けねじを緩めます。
- 下ガイドの前後位置を調整します。
- 調整が終わったら、取付けねじを締め込みます。

